

クマに注意！



県内の山は、クマの生息地ですから、どこの山林でもクマと出遭う可能性があります。

山に入る場合は、クマと出遭わないよう次のことにご注意ください。

◇身近な里山でもクマは、普通に暮らしています。

行き馴れた身近な里山でも、クマとの遭遇に注意を払う必要があります。

◇鈴、拍手、大声、ラジオなど大きな音を出して移動し、クマに自分の存在を知らせる。

クマは聴覚や嗅覚が人より優れているため、人の接近をいち早く察知し、人を避けます。

◇悪天候の日は、特に注意。

雨や風の音、霧などにより、クマも人の気配に気づかず至近距離まで接近することがあります。



ツキノワグマの糞

(食べ物によって、また体調によって形や色が変わります。)

◇山菜採りは、ほどほどに。

山菜はクマも好物です。山菜の多いところにはクマもいることが多いので、足跡や糞などを見つけたら引き返しましょう。

◇入山地域のクマの出没状況を確認し、危険な場所には近づかない。

細心の注意をもって山に入りましょう。早朝や夕方は特に注意が必要です。

日中はヤブや林などの薄暗い場所には近づかない。

◇子グマを見たらそっと立ち去る。

近くには必ず母グマがいます。子グマがかわいいからと近づいたりすると、母グマが突然現われて人を攻撃することがあります。



前足

後ろ足

ツキノワグマの足跡